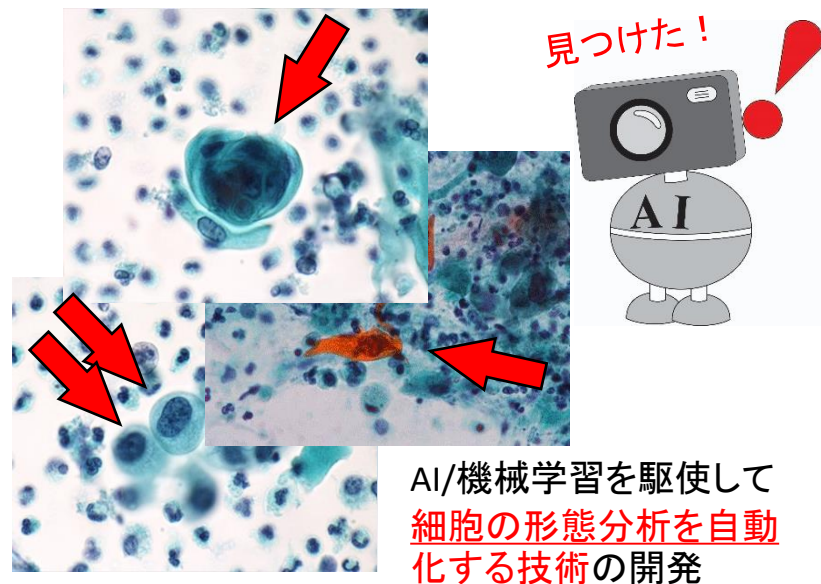
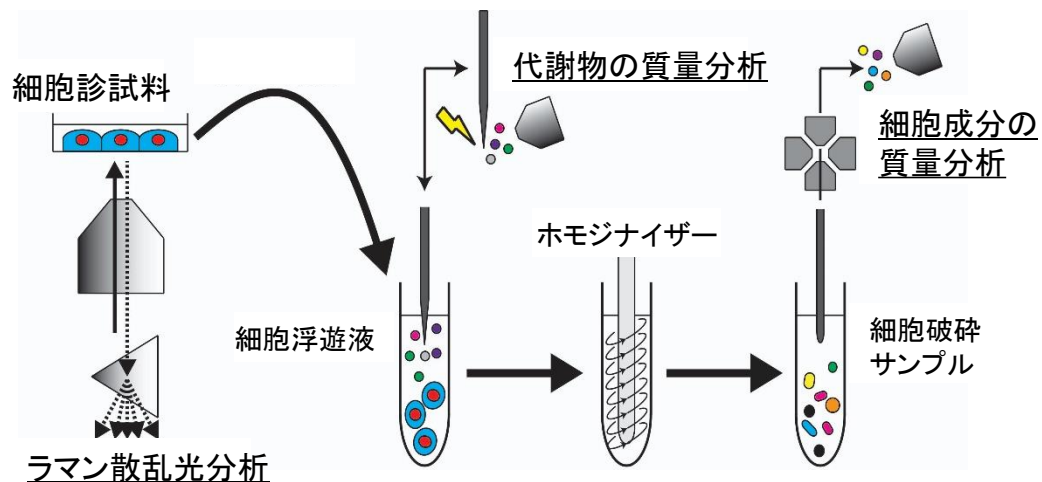


新しいがん診断技術の研究開発

1. 異型細胞の自動検出技術

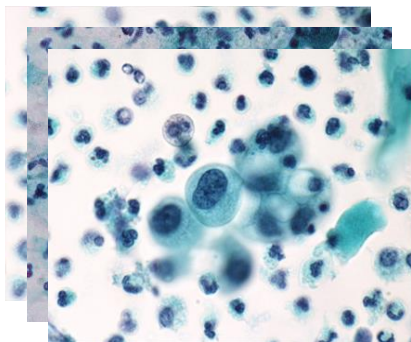


2. がん診断に客観性を持たせる分析技術



細胞の形態情報を分析するだけでなく、質量分析やラマン散乱光分析による細胞成分のデータを加えて、がんの診断により客観性を持たせる技術の開発

既存技術の問題点



膨大な細胞診試料をスクリーナーが目視で異型細胞を見つけて、病理医が目視で最終確認する。

- ・非効率的
- ・客観性に欠ける

氏名：常山 幸一
分野：疾患病理学
専門：人体病理学・肝臓病理学
E-mail: tsuneyama.koichi@tokushima-u.ac.jp
Tel. 088-633-7065
Fax: 088-0633-7067
HP : <https://plaza.umin.ac.jp/pathol2/>

